

# 《放蕩記》

## 图书基本信息

书名：《放蕩記》

13位ISBN编号：9784334744908

10位ISBN编号：4334744907

出版时间：2008-10-9

出版社：光文社

作者：佐藤正午

页数：273

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：[www.tushu111.com](http://www.tushu111.com)

# 《放蕩記》

## 内容概要

売れてる作家には金があり、金がある作家は毎晩飲み歩き、てきとーな名前を語って女をくどきまくる。金を湯水のように使い、勝手気ままな生活を送る。昼も夜も関係なく、夢も現実もごっちゃまぜになったような毎日。主人公、海藤正夫は、まさにそんな毎日を送っている。デビュー作が新人賞を取り、どこの書店でも平積み。使っても使っても印税が入ってくるのでお金には困らない。そもそも小説を書いたのはお金のためなんだ。金が世界を動かすんだ。そう宣(のたま)い、遊んでばかりでまったく書こうとしない作家「ぼく」の行く末は？

各章ごとに異なった文体と視点をうまく使い、海藤が感じていた混乱と破滅への確かな手ごたえを見事なまでに描いている。あくまでもフィクションなので、主人公の海藤正夫は作り出された人物ではあるが、ある種の作家の素顔を描いているようにも思える。「しかし今だに、ぼくは相も変わらず小説を読みつづけている。そしてデビュー作以後一度として売れたためしのない小説を書きつづけている」。こんな感じ方をしている小説家、小説家のたまごは世に多くいるに違いない。

解説によると、著者はとあるインタビューで次のように答えている。「作家がいればそれが酒飲みで、女にも強い。そうあったらいいな、という願望を小説に書いているんです」。

海藤正夫は、ある意味、理想の作家像ともいえるのだろう。作家とは何か、書き手としての「ぼく」海藤の存在意義、苦しみとは。そんなことまで考えさせられる1冊だ。(つちだみき)

# 《放蕩記》

## 版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:[www.tushu111.com](http://www.tushu111.com)